
夏休みの工作教室 ～万華鏡作り～

〈東北コミュニティセンター〉

○開設の趣旨 夏休みを利用して子どもたちの創造性を育む作品づくりに挑戦する。

○期 間 平成27年7月30日（木）

○時 間 午前10時30分～11時30分 （1時間）

○対象・定員 市内在住の小学生 20人

○参加者 22人

○参加費 なし

○講師 東京ガス（株）北部支店 中村 厚

○事業内容 夏休みを利用して子どもたちの創造性を育む作品づくりに挑戦する。ガスを再利用し、ガスや地球環境について学習する。

○まとめ

受付を開始してからすぐに定員に達した。締切り後も電話が続き、多くの申込みを断らなくてはならなかった。

東京ガスの出前講座は講師が打ち合わせに何度も足を運んでくれて、大変熱心に対応してくれた。古くなったガスを再利用して胴体部分を作り、中に入れる色とりどりのセロファンなどを準備してくれた。

講座の最初は、ガスや地球環境について、プロジェクターを使用して説明してくれた。

小学生は学年を取り混ぜて6人を1班にした。高学年の子には多少簡単過ぎたかもしれないが、全員が楽しそうに制作に打ち込んでいた。

思ったよりも短時間で完成したが、出来上がった作品に満足できた様子だった。



夏のお楽しみ会 ～ピエロによるパフォーマンス・朗読会～

〈東北コミュニティセンター〉

○開設の趣旨 親子でさまざまなパフォーマンスを見ながら、楽しいひとときを過ごす。また、地域の交流を図る。

○期 間 平成27年8月1日（土）

○時 間 午前10時～正午（2時間）

○対象・定員 幼児から小学生までのお子さんと保護者・30人

○参加者 34人

○事業内容

【プログラム】

1 赤いりんご朗読会

①てあそび

②大型絵本「にゃーご」

③朗読劇 「こぐまのくまくん」「くまくとけがわのマント」「くまくんのつきりょうこう」

④ことばあそび「ぽいぽいたそう」

⑤てあそび

⑥紙芝居「おぶさりてい」

⑦エプロンシアター「3びきのやぎのがらがらどん」

2 ピエロのパフォーマンス・・・立教大学 どりいむぼっくす

○ま と め

思ったほど申込みが増えずに心配したが、近くの保育園が14人で参加してくれた。「赤いりんご朗読会」のメンバーは5人で、いろいろと趣向を凝らしてくれた。朗読は少し難しかったようで、飽きてしまった子ども達もいた。こういうことを避けるためには年齢をしぼったほうが良いのだろうが、それではますます集客がきびしくなってしまうので、仕方ない面もある。

どりいむぼっくすは男子大学生3人がとても楽しく会場を盛り上げてくれた。最後はバルーンで動物を作って、参加者に渡してくれた。子ども達はとても喜んでいて、夏の良い思い出になってくれたならうれしい。夏のイベントはなかなか人が集まらないので、これからも課題である。

小学生のためのフラワーアレンジメント

〈東北コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 フラワーアレンジメントの基礎を学ぶ。
- 期 間 平成２７年１２月１２日（土）
- 時 間 午前１０時～正午 （２時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生・１５人
- 参 加 者 １０人
- 講 師 池坊講師 沖津 淑子
- 事業内容 小学生を対象にクリスマスに飾るフラワーアレンジメントの作品を作る。
- 材 料 費 １０００円（材料代）
- ま と め

申込みが少なく、集客に苦労した。公民館、ほっとぷらざ、東北小学校などにチラシを持って行き、コミセン関係者にもかなり声をかけたのだが、あまり効果はなかった。小学生が忙しいのだろうか。

講師はクリスマスカラーの赤や緑の花を用意してくれた。籠の中にオアシスを置き、緑色のヒバで回りを囲む。その後、ガーベラ、トルコキキョウ、シンビジューム、コットン、松ぼっくり、ワックスフラワーで作品を作った。講師は個人の創造性を大事にして、大巾に直すことはしなかった。小学生は集中して作品を完成させ、どれも素晴らしいできあがりだった。

後ろで見学していた３人のお母さん達からは、一緒にやりたかったという声も出た。



子育てラクラク講座

＜東北コミュニティセンター＞

○開設の趣旨 幼児期の子育てについての考え方や、子育てに役立ち身近に応用できるものを学習する。

○期 間 平成27年10月2日～10月30日の毎週金曜日（計5回）

○時 間 午前10時～正午（計10時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人

○参加者 16組 参加延べ人数 63人

○保育 18人

○事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	10/2（金）	読み聞かせ 新座の子育てについて	赤いりんご朗読会 子育て支援課
2	10/9（金）	生活を整え気持ち良い暮らし	婦人之友友の会
3	10/16（金）	ほめ日記とヨガでリラックス	自己尊重プラクティス協会 手塚千砂子
4	10/23（金）	幼児の食事 ～元気で賢い子に育てる～	管理栄養士 鳴嶋 廣美
5	10/30（金）	子育ての不安を解消したい すご技Q	子ども110番相談員 にしがはちだい

○ま と め

応募者が定員に達しなかったが、双子が2組と、兄妹2人を預けた人もいたので、保育室はにぎやかだった。全体的に出席率も良く、ほとんどの人が満足してくれたことが、アンケートにも表れていた。

子育てについての不安を事前に提出してもらい、最後の講座で取り上げてもらった。講師のアドバイスはとても心に残り、お互いに話すことで不安も解消されたのではないかなと思う。ヨガで身体を動かしてリラックスできたという声も多かった。保育サポーターの方達は毎回工夫して、保育にあたってくれた。地域で楽しく子育てができるように、また、お母さん同士のつながりができるように手助けができるようにしていきたいと思う。

センスアップ講座 ～似合う色をみつけましょう～

〈東北コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 肌や瞳の色によってそれぞれ似合う色があるので、その傾向をつかんで洋服選びやコーディネートに活かす。
- 期 間 平成27年7月10日～17日までの毎週金曜日（計2回）
- 時 間 午前10時～正午（計4時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方 15人
- 参加者 16人 参加延べ人数 30人
- 講師 ビューティーアドバイザー 柴崎 明美
- 保育 2人（男1人、女1人）
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	7月10日（金）	肌の色を判定して、ファンデーションの正しい選び方を学ぶ
2	7月17日（金）	カラー診断をして似合う色を見つける

○ま と め

申込みを受け付けてからすぐに定員に達したので、人気のあることに驚いた。また、受講者の年齢が20代から80代と巾が広く、何歳になっても美容に関心をもつ前向きさに感動した。

1回目は自分の肌の色を知ることができ、それによって、ファンデーションの正しい選び方を知ることができた。2回目は一人ずつカラー診断をしてもらった。赤、青、緑、茶の中の微妙に違う3色、合計12枚の布をあてて、一番似合う色を決める。似合う色とは顔立ちがはっきりして見える、顔に透明感を感じるということだそうだ。講師だけでなく、受講者も感想を言い合って、とてもなごやかに行なわれた。最終的には3タイプのどこにあてはまるかが決まり、資料の色見本を見ることによって、今後の洋服選びに役立つということである。

アンケートの結果も大変好評で、充実した講座だった。

ハンギングバスケット

〈東北コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 初心者を対象にハンギングバスケットの基本を学ぶ。
- 期 間 平成27年12月10日（木）
- 時 間 午前10時～正午
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 15人
- 参加費 2800円（材料代）
- 講師 グリーンアドバイザー・日本ハンギングバスケット協会公認講師
大塚敦子
- 事業内容 壁掛け型スリット入りバスケットに苗を植え込み、お正月から
春まで楽しめる作品を作る。

○ま と め

初めて企画した講座だが、とても人気があってキャンセル待ちがでたほどだった。当日は欠席者もなく、たいへん熱心に取り組んでいた。

一人当たり、15株もの花を植えた。葉ボタン、アイビー、ビオラなどの花を先生の説明に従って、スリット入りのバスケットに順番に植え込んだ。

講師は席を回って丁寧に指導してくれたが、時間が足りないくらいだった。

出来上がってから、水やりや栄養の与え方について話を聴いて終了となった。受講者は出来上がった作品に満足していた様子だった。

会場が2階であることや土を使用するので、運搬が大変で、床の汚れなどが気になった。次回はその点に気をつけていきたいと思う。



文学講座

〈東北コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 夏目漱石の「こころ」を読み解く
- 期 間 平成27年8月21日～9月11日までの毎週金曜日（計3回）
- 時 間 午前10時～正午（計6時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人
- 参加者 30人 参加延べ人数 75人
- 講師 大妻女子大学教授 須田 喜代次
- 事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	8月21日（金）	夏目漱石 「こころ」を読む	大妻女子大学教授 須田 喜代次
2	8月28日（金）		
3	9月11日（金）		

○ま と め

昨年実施予定していた夏目漱石の「こころ」を取り扱った。昨年は館の耐震補強工事があり、「こころ」を取り扱う時間が取れなかったもので、今年にずれ込んだ。今回は夏目漱石の集大成と考えて、この大作に挑んだ。非常に内容が濃く、講師の話では10回位の講座でやってちょうど良い作品であるとのことである。そのため、今度の講座はかなり駆け足で進んだ。

「こころ」は高等学校の教科書でも取り上げており、大部分の受講者が一度は読んでいる作品である。そのためか、講師から様々な解釈が示されると、新たな発見をしたという声が多かった。

須田講師の講義を聴きたいという受講生が多く、今後も続けたい講座である。

知っているようで知らない日本語 ～おとなの日本語～

〈東北コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 漢字、ことわざ、慣用句、四字熟語などの、知っているつもりでも、間違いやすいものについて学習する。
- 期 間 平成27年5月19日と6月2日の火曜日（計2回）
- 時 間 午後1時30分～3時30分 （4時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 20人 参加延べ人数 37人
- 講師 日本語検定委員会公認講師 新島 尚子
- 保育 希望者なし
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	5月19日（火）	間違いやすい漢字、四字熟語、慣用句など
2	6月 2日（火）	尊敬語と謙譲語、巷で見かけた気になる言葉など

○ま と め

初めて企画した講座なので集客を心配したが、申込みが多くキャンセル待ちもでた。受講者は大変熱心で有意義な内容だった。講座のタイトル通りに、おとなになっても間違った使い方をしている慣用句や漢字、また、尊敬語と謙譲語の間違いやすい表現など多岐にわたって取り上げてもらった。プロジェクターでスクリーンに映したので、字が大きくて見やすかった。講師はアナウンサーもしている方なので、声も言葉もととてもきれいで心地よかった。

「役不足」「気の置けない人」などの正しい意味を選んで進んでいくので、クイズのような感覚もあり、楽しく受講できたようである。

日本語の大切さやおもしろさに改めて気がついた、という感想がアンケートに表れていた。再開希望が多いので、今後の実施を検討したいと思う。

保育付き講座にしたのだが、希望者はいなかった。

シニアのためのタブレット講座

＜東北コミュニティセンター＞

- 開設の趣旨 普及が目覚ましいタブレットだが、使い方がわからないシニア世代を対象に基礎知識を学ぶ。
- 期 間 平成28年1月15日（金）
- 時 間 午前10時～正午 （計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤でタブレットを利用している50歳以上の方
- 参加者 20人
- 講師 KDDI ケータイ教室事務局 山形 豊
- 事業内容 タブレットを購入したが、使い方がわからないというシニア世代に操作の実習を行なう

○まとめ

近年のタブレット端末普及により、タブレット操作に関する講座を増やしてほしいという声が高まり、初めて実施した。受付初日開始早々、電話が殺到し、約15分で定員に達してしまった。講座は講師が機材をんほとんど持ち込み、タブレット端末機を人数分用意してくれた。KDDIの社会貢献事業であり、販売や加入電話会社に関係なく普及させようという本企業の考え方は高く評価できる。

講義では基本操作や利用度の高いアプリの紹介、詐欺などに引っかけられないための心得など、ポイントをいくつか絞って、手際よく進んだ。メイン講師とサブ講師がKDDIから派遣され、同社の要請があって、館長を含め本館職員3人が補助員として講義の手伝いをした。当面、需要の高い講座だと考えている。



空旅を楽しもう ～意外と知らない機内・空港の魅力～

< 東北コミュニティセンター >

- 開設の趣旨 飛行機で旅をする時、通過する空港や搭乗する飛行機のおもしろさを学習する。
- 期 間 平成28年2月20日（土）
- 時 間 午前10時～正午 （2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人
- 参加者 24人
- 講師 トラベルライター 大和田聡子

- 事業内容 国内外を飛行機で旅する時、通過する空港や搭乗する飛行機を旅の手段だけとしてとらえるのではなく、それ自体を旅の楽しみとしてとらえ、具体的にどこがおもしろいかを追求する。

○ま と め

今回の講座は、空港や旅客機の中で時間をどう楽しく過ごすかという一種変わった講座である。応募に関して若干の不安があったが、3日目に定員に達した。講師は趣旨をよく理解してくれて、だいたいイメージどおりの講座になった。講師がレジュメを全て用意してくれて、世界の様々な空港ランキングや空港内の楽しい施設の説明、有名な空港をいくつか挙げて、おもしろいスポットや特色を紹介、解説してくれた。

さらにLCCという格安空港会社の長所と短所の話もおもしろかった。

今後、航空関係の講座を年1回は行ないたいと考えている。



鎌倉史跡さんぽ ～今は昔、三つの尼寺物語～

＜東北コミュニティセンター＞

- 開設の趣旨 鎌倉市跡散歩市ボランティアガイド協会会員の協力で歴史と文化に触れながら散策する。
- 期 間 平成27年11月11日（水）
- 時 間 午前7時45分～14時 （計6時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方 15人
- 参加者 15人
- 参加費 800円（拝観料）
- 講師 NPO法人 鎌倉ガイド協会 千葉祐子
- 事業内容 志木駅改札7:45集合～鎌倉駅西口～古我邸～壽福寺（昼食）～英勝寺～亀が谷坂～東慶寺～鉢の木（昼食）～北鎌倉駅（自由解散）

○まとめ

「三つの尼寺物語」をテーマに秋の鎌倉を散策した。

欠席も遅刻もなくスムーズに行程を進めることができた。ガイドの方は昨年たいへん好評だったので、同じ方をお願いした。昼食は料亭「鉢の木」で会席弁当を楽しんだ。その後は解散となり、皆さん満足していたようすだった。来年も企画してほしいという声があった。



楽しい英会話（初級）

〈東北コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 初心者を対象に、楽しく英会話を学習する。
- 期 間 平成27年10月29日～11月12日までの毎週木曜日
(計3回)
- 時 間 午前10時～正午 (計6時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方 15人
- 参加者 15人 参加延べ人数 39人
- 講師 英会話講師：ジム・ターコット
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	10月29日(水)	買い物の時に役立つ表現
2	11月 5日(水)	レストラン、メニューの内容
3	11月12日(水)	味覚の表現など、1、2回の総復習

○ま と め

定員を超える応募があり、英会話の人気の高さを痛感した。初心者対象としては難し過ぎるのではないかという声があったので、講師にもっとゆっくりすすめてもらうようお願いした。レベルの違いは個人によって様々なので、どのあたりに焦点を合わせるかが難しいところである。

講師は日本語を全く使わなかったが、教え方がとても上手なので受講者はとても満足していた様子だった。出席率も良く、今後英語を学ぶきっかけになってもらえればうれしい。

人 権 を 考 え る

(東北コミュニティセンター)

○開設の趣旨 利用者懇談会の中で人権について学習する。

○期 間 平成27年11月14日(土)

○時 間 午前9時30分～午前11時(30分)

○対 象 当館利用者団体代表

○参 加 者 41人

○事業内容 人権教育映画「マララー 教育を求めて戦う少女」の上映

2012年10月、パキスタンの少女マララ・ユスフザイはタリバンに銃撃された。イスラム社会における女子教育の必要性を訴えて活動していた彼女は、タリバンの標的となっていたのだ。治療のためパキスタンからイギリスに緊急搬送され、奇跡的に回復した。現在はイギリスに住み、女子教育のための活動を続けている。

BBC制作のDVDは事件当時の映像やマララへのインタビューなどで構成されていて、見ている側に訴えるものが多かった。

受講者のほとんどの人が事件は知っていると思うが、マララ自身の声を聞き、映像を見て、とても感動していたし、中には涙ぐんでいる人もいた。教育を受けることが当然という日本に住んでいるとなかなか気がつかないことだが、改めて恵まれている環境にいることを痛感した。

○ま と め

利用者懇談会の場を借りて、人権教育映画を上映した。ひとりの少女の言葉や行動が世界を変えること、宗教や人種による差別について学ぶことができた。

改めて人権、教育など多くのことが当たり前のように私たちの周りにあるが、これは崇高であり、先人が与えてくれた恩恵であると感じた。

やさしい水彩画

< 東北コミュニティセンター >

- 開設の趣旨 初心者を対象に水彩画の基本を学び、実際に描いてみる。
- 期 間 平成27年5月22日、29日（金） 計2回
- 時 間 午前10時～正午 （計4時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方 20人
- 参加者 11人 参加延べ人数 21人
- 講師 水彩画サークル講師 高野浩毅
- 保育 希望者なし
- 事業内容 初心者を対象に絵手紙の基本を学び、静物や花を描く

回	月 日	内 容
1	5月22日（金）	静物画（花）を描く
2	5月29日（金）	静物画（果物）を画く

○ま と め

申込者が定員には達しなかったが、結果的にはちょうど良い人数だった。1回目はバラの花、2回目はスイカ、いちご、りんごなどの果物を描いた。机をコの字形にして、真ん中に描くものを置いた。

初めに講師が説明しながら描いて見せ、その後、それぞれが描いているところを講師が回って指導した。

2回とも素敵な作品ができあがり、受講者はとても満足した様子であり、それはアンケートにも表れていた。

高野先生に引き続き指導してほしいという希望者が多かったが、先生のサークルは現在満員で、新たにサークルを作ることにもむずかしい状況である。また、講座を企画してほしいという声が多かったので、検討していきたいと思う。

保育付き講座にしたが、希望者はいなかった。

イギリスへの招待 ～異文化理解講座～

＜東北コミュニティセンター＞

○開設の趣旨 イギリスについてさまざまな観点から話を聴いて、理解を深める。

○期 間 平成27年11月13日～27日までの毎週金曜日（計3回）

○時 間 午前10時～正午 （計6時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方 25人

○参加者 22人 参加延べ人数 55人

○事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	11月13日（金）	ピーターラビットの世界を楽しむ	英国文化研究家 北野佐久子
2	11月20日（金）	世界遺産と個性的な旅のコツ	トラベルライター 大和田聡子
3	11月27日（金）	イギリス人の暮らしと文化	英会話講師 ピーター・チャムリー

○ま と め

申込みが多く、キャンセル待ちも設けたほどだった。1回目の講師はピーターラビットの物語と著者のビアトリクス・ポターの生き方などについて解説してくれた。また、ハーブ研究家でもあるので、物語に登場するハーブや料理についての話も大変興味深かった。

2回目の講師は最新のロンドンの魅力や世界遺産を映像を使って説明してくれた。ナローボートの旅がイギリス人のあこがれの旅だが、歩く速度と変わらないくらいゆっくりなので日本人には向かないかもしれない、などと興味深い話がたくさんあった。

3回目は日本に来て24年の講師が問題形式で講座を進め、最高得点の人に賞品を用意してくれた。音楽、通貨、スポーツ、食べ物などネイティブの人ならではの問題に受講者は熱心に取り組んでいた。アンケートの結果も好評だった。

初めてのヨガ

〈 東 北 コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー 〉

- 開設の趣旨 タイ式ヨガの基礎を学び、身体を動かす。
- 期 平成27年5月26日～6月9日までの毎週火曜日 （計3回）
- 時 午後10時～正午 （6時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人
- 参 加 者 26人 参加延べ人数71人
- 保 育 5人（男4人 女1人）
- 講 師 日本ルーシーダットン普及連盟認定インストラクター 高橋優子
- 事業内容 ヨガを通して身体も気持ちも元気になるようにする。

回	月 日	内 容
1	5月26日（火）	ストレッチで十分に身体をほぐした後にヨガの動きを行なった。それぞれのポーズに名前があり、その説明をしてもらった。肩こりや腰痛、骨盤矯正に効果のある動きを行なった。鼻から息を十分吸って、ゆっくり息を吐きながら動くことで、心も身体もリラックスできた。音楽と鐘の音も心地よかった。
2	6月 2日（火）	
3	6月 9日（火）	

○ま と め

申込み開始と同時に電話が殺到して、すぐに定員になったため、多くの人を断らなければならなかった。キャンセル待ちを設けたが、キャンセルは出なかった。参加者の年齢は20代から70代までで幅広かった。

1回目は肩こり解消、2回目は骨盤矯正に役立つ動きを行い、3回目は両方をおこなった。ヨガに入る前に十分ストレッチ運動をして、ゆっくりした動きだが心身ともにスッキリして気持ち良かった。アンケートの結果を見ると、全員がとても満足したと回答していてもっと続けてほしいという声が多かった。また、大変気持ち良かった、という感想も多く、ヨガの人气がうかがえた。

ホールは使用頻度が高く、連続講座を実施するのはむずかしい状況でもあるが、今後また検討していきたいと思う。

保育希望は5人だった。

京都・千年の歴史を歩く

～京都の地名・通り名から読み解く京都の歴史～

〈東北コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 京都の地名や通り名の由来を学び、昔の京都の雰囲気を知る。
- 期 間 平成28年2月12日（金）
- 時 間 午前10時～11時30分 （計1.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方 25人
- 参加者 20人
- 講師 榊らくたび（代若村 亮）
- 事業内容 京都の地名や通り名の由来を学び、その歴史を知って、昔の京都の雰囲気を知る。

○まとめ

受付開始してからすぐに定員に達してしまい、その関心の高さに驚いた。講師は京都在住で京都に特化した事業を行なっている。京都本の執筆、旅行企画、各種講座の講師などで京都の魅力を全国に発信している。1回だけではむずかしいが、関心のある京都について有意義な話を聴くことができ、受講者の方たちに満足してもらえたようだ。

京都には神社が270、お寺が1660あるとのことである。主な神社やお寺の名前の由来、御陵（みささぎ）、不明門通り（あけずどおり）などの読み方の難しい名称、さらに平安時代の暮らしなど多岐に渡って説明をしてくれた。

平安時代の最大の問題は「怨霊」による災いや天変地異であり、怨霊（御霊）の祟りを恐れ、これを鎮めて平穏を回復する信仰を御霊信仰という。崇めると崇るの字が似ていることは興味深い。

受講者からはまた企画してほしいという声が多かった。

講師の解説はとても流暢で、聴きやすかった。

最新の機器を持ってきてくれたので、パソコン、プロジェクターをこちらで用意する必要はなかった。



アコーディオンの魅力に触れてみませんか ～楽器の仕組みと演奏～

〈東北コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 芸術鑑賞の枠でひとつの楽器を取り上げて、その魅力を知る
- 期 間 平成28年1月22日（金）
- 時 間 午後1時～3時 （計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方 25人
- 参 加 者 17人
- 講 師 日本アコーディオン指導者協会専任講師 三上 郁
- 事業内容 ひとつの楽器を取り上げて、その仕組みを身近に見て学び演奏を聴く。また、一緒に歌って音楽を楽しむ。

○ま と め

講師はアコーディオンを持参し、アコーディオンの種類、歴史などについてパソコンを使って説明してくれた。両手でボタンを操作することに加えて、音程を変えるボタンもあり、とても複雑で驚いた。もともとボタン式アコーディオンが先にあり、タンゴの流行とともに演奏者が足りなくなり、ピアニストでも弾けるように鍵盤式アコーディオンができたとのことだ。

「巴里の空の下」「バラジョー」「パッション」などのシャンソンや、ピアソラの「レベルタンゴ」などの演奏はとても素晴らしく、参加者は聴き入っていた。

「青い山脈」と「上を向いて歩こう」をみんなで歌い、盛況に終えることができた。コンサートだけではない有意義な内容で、休憩時間も質問があり、受講生にとって興味深いものであることがわかった。

ジェイコムの取材があり、3日後に放送された。



東北コミセン ジャズフェスタ

< 東北コミュニティセンター >

○開設の趣旨 日頃身近で聴くことのないジャズの生演奏を楽しむ。地域と大学の交流も兼ねたコンサートを実現する。

○期 間 平成27年12月5日(土)

○時 間 午後1時30分～3時

○対象・定員 市内在住又は在勤の方 100人

○参加者 106人

○事業内容 ジャズを理解するために生演奏を聴く機会を提供する
「My favorite Things」「Take the A train」「Autumn leaves」などを演奏した。

○演奏者 立教大学「ジャズ研究会」

ま と め

今回は新たにジャズという音楽分野のコンサートを実施した。また、大学との連携を重視し、演奏者を探したところ、立教大学にジャズ研究会があることがわかり、演奏の打診をしたところ、快く引き受けてくれた。

曲目は比較的多くの人に知られているものを希望した。アメリカでのヒット曲から美空ひばりが歌った「A列車で行こう」など、日本でもヒットした高齢者になじみの深い曲などを選んで演奏してくれた。観客は演奏者が地元の立教大学の学生であるので、ステージを暖かく見守るような感じで鑑賞していた。

皆満足したようであり、成功であったと思う。今後も大学との連携を視野に企画をしていきたいと感じている。



外国人のための日本語教室

(東北コミュニティセンター)

○開設の趣旨 日本語を母国語としない人を対象に、日本語の学習と地域社会での生活の円滑化を支援する。

○期 間 平成27年4月5日から平成28年3月27日までの毎週日曜日
計48回

○時 間 午後6時30分～8時 (1時間30分 年間累計72時間)

○対象・定員 日本語を母国語としない外国人

○参 加 者 62人 延べ503人

○事業内容 日本語の学習、指導及び生活の円滑化について参加者へ支援を行う。

○ま と め

平成20年度から新座日本語の会のみなさんと共催で始め、今年度で8年目となる。学習者の国別では中国とベトナムが圧倒的に多く、ベトナムは圧倒的に男性が多い。他には韓国、モンゴル、フィリピン、インドネシア、ナイジェリア、パキスタン、ニュージーランド、台湾、など多くの国、地域から参加している。

夜間講座なので連続しての出席はなかなか難しいようである。入門レベルの受講生がほとんどで、日本語のみならず、日本の文化についての紹介もしている。本市及び近隣地域において今では日本語を学ぶのに不可欠な存在となっている。

イキイキ実年学級

〈東北コミュニティセンター〉

○開設の趣旨 知識を高め、健康で楽しい生活が送れるよう、地域の高齢者の仲間づくりを後押しする。

○期 間 平成27年6月5日～26日までの毎週金曜日（計4回）

○時 間 午前10時～正午 ただし、館外学習は午前8時30分～午後5時（計14.5時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の60歳以上の方・25人

○参加者 24人 参加延べ人数82人

○事業内容

回	月 日	テ ー マ	講 師
1	6月 5日（金）	整理収納術	ナチュラルライフ研究家 佐光 紀子
2	6月12日（金）	コーヒーの豆知識	全日本コーヒー協会専務理事 西野 豊秀
3	6月19日（金）	アロマセラピー学習	アロマセラピスト 堀岡 幸恵
4	6月26日（金）	熊谷市能護寺 群馬県大泉町ブラジルタウン	東北コミセン職員同行

○ま と め

例年、募集開始からすぐに定員に達してしまう人気講座である。今年は特に出席率が高かった。1回目の整理収納術では講師が参加者とトークしながら問題点をあげ、それを皆で考えるというものであった。2回目はコーヒーの煎れ方と基礎知識に関する講義であった。普段飲んでいるコーヒーが産地で味や製法が異なるという点が大変興味深かった。

3回目はアロマセラピーについて学んだ。女性が多かったこともあり、その眼差しの鋭さを感じた。4回目は館外学習で、紫陽花の咲く熊谷市の能護寺とブラジル人が多く住んでいる群馬県の大泉町を訪れた。

大泉町ではブラジル料理を楽しみ、またスーパーマーケットで売っている海外の商品を購入した。高齢者学級なので、歩行距離が短くて済むようにコース設定した。大変有意義なものとなった。